了阿上人様　　仏庵

了阿上人様　　山東庵

分袂以来未昧至致過日
逐日霜威相催候浮去
益御清祥奉恭寿候
扨も拙支南年譜文
の義編五六部出板致候
右皆脱稿いたし候校合
月毎ニ書肆より持来て
まことに鐵筆もせはしく　御近定
一もさくさく出かけ申し　公務之
余暇寸暇ニ而証も無之出会
まこと中村尖一而て近衛
夜話ニ参毎々承議相宜
いそがしさまことにさむく寒候
まことに列し候事とし
いつ御清上参ば豚児　御病後
残遅候御起居之書餘
早期御勝手次第ニ候

霜月十四　　白樹拝

了阿様侍

了阿
様